

環境自主行動計画策定に向けて

エコロジカルなインターネットプロバイダー

2009.3.4

社団法人日本インターネットプロバイダー協会

私たちは約束します

社団法人日本インターネットプロバイダー協会（JAIPA）は、本研究会の趣旨に賛同し、環境自主行動計画の策定を進めていきます。

二酸化炭素（Co2）の排出削減に向けた取り組みを具体化し、協会として、そして会員に向けて、取り組みへの積極的な参画を促していきます。

JAIPAは、会員がトラフィック単位当たりの電力削減に努める様、普及啓蒙を行っていきます。

JAIPAは、他の通信事業者団体他と共に「機器等の調達基準ガイドライン」策定を行っていきます。

プレゼンテーション趣旨

背景

社団法人日本インターネットプロバイダー協会（JAIPA）は、1999年インターネットサービスプロバイダーを中心に設立された社団法人です。急速なインターネットの普及と共に接続サービス以外のインターネットサービスを提供する事業者も参加し、現在180事業者が協会の活動を支えています。

インターネットの社会インフラ化に伴い、協会会員の提供するサービスも多岐に渡り、接続、サーバホスティング、ドメイン名発行、eコマース、コミュニティサービスなど会員は様々なジャンルでビジネスを展開しています。

JAIPAは、このような多様化したインターネット業界において、次々と発生する問題に対して会員と共に取り組んでいます。

課題

今回「情報通信分野におけるエコロジー対応に関する研究会」に於いて、JAIPAがプレゼンテーションをさせていただきますが、前述したように、会員のビジネスモデルが多様化しているため、その事業を支える機器やインフラも様々です。一つの指数で会員全体のエコロジカルな活動を計る事が難しいのが実情です。

通信事業者団体の現状 ～目標指数～

■社団法人電気通信事業者協会

エネルギー原単位＝電力消費量／契約数

■社団法人テレコムサービス協会

エネルギー原単位＝電力消費量／売上高

■社団法人日本ケーブルテレビ連盟

エネルギー原単位＝電力消費量／接続世帯数

■社団法人日本インターネットプロバイダー協会
未作成

JAIPA協会内で様々な議論を行いましたが、
日本インターネットプロバイダー協会として
下記の算出方法を、協会の目標指数とする事が適切ではないかとなりました。

**エネルギー原単位＝電力消費量／通信トラフィック量
kWh/Mbps**

JAIPAの目標指数の策定に関して

通信事業者団体が同じような目標指数を掲げることで、解りやすい指数となることは間違いありません。しかし、JAIPA会員の特性により、幾つかの問題点が浮かび上がります。

まず契約数ですが、個人契約と、法人契約が混在してしまいます。特にホスティング事業の場合、個人の契約と法人契約とを同じカウント数で処理してしまうのは問題です。

また、接続サービス、コンテンツサービス、無料サービス、有料サービスと様々なケースが存在しています。

契約数をどのように定義すればよいのか議論の余地があります。また売上高ですが、会員は、年々新しいサービスを開発し提供しています。しかし事業者間の競争が激しいため、収益のない無料サービスが多く存在します。

このため設備投資を行いサービスを提供することになるので、売上げが伸びない中で機材が増え、電力消費が増加しています。

このような状況を鑑み、様々なサービスを提供している事業者に共通している電力消費と通信トラフィックを基本とした指数を考えました。

**トラフィックを、インターネット利用者の総和と考え、
1Mbpsあたりの消費電力を目標指数とします。「kWh/Mbps」**

参考事例

JAIPA会員 EditNet株式会社のエコロジカルISPへの取り組み
<http://www.editnet.co.jp/eco-wind.htm>

2003年度より、EditNet株式会社は、日本自然エネルギー株式会社の「グリーン電力証書システム」に参加し、使用電力の100%を風力発電によりまかっています。

サーバ及びネットワーク機器の電力消費を軽減する事は確かに大切なことですが、これら設備を運営するための空調設備が、ISPではかなりの電力消費をしています。

これら事業全体の電力消費を考慮した時、EditNet株式会社の様にグリーン電力証書の購入もエコロジカルな取り組みとして考慮すべきでしょう。

参考として：協会員社の指数変化

